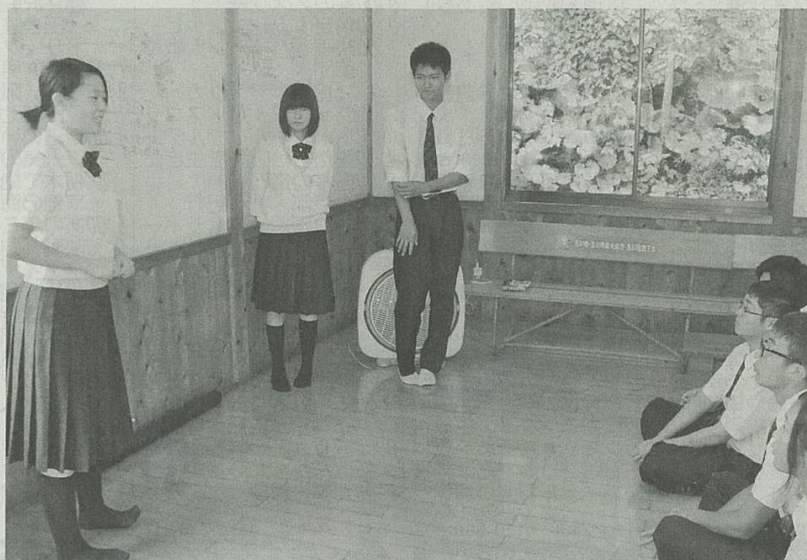


南部

南部町のNPO法人青森なんぶの達者村(沼畑俊吉代表)は8、9の両日、同町の名川チェリリン村で「キャリア教

育キャンプ」を開いた。青森県立名久井農業高生11人がグループワークなどを通じ、地域の将来に思いを巡らせた。(岩淵修平)

# 地域良くするためには



農業クラブ役員の2、3 年生が参加。初日は地域の課題と魅力、若者が望むことについて意見を出し合

## 名農高生 キャリア教育キャンプ

### 若者視点でアイデア発表

い、地元住民と交流。2日目はグループに分かれ、地域を良くするためのアイデアを発表した。

あるグループは、農業の楽しさを伝える企画で後継者を増やすことを提案。ブラック企業のない町としてPRする、緑を生かした娯楽施設で税収を上げ交通の利便性を高める—といったアイデアも披露された。2年嶋守龍さんは「物事に対する見方や考え方がたくさんあることが分かった。課題研究などに生かしたい」と話していた。

キャンプは高校生が進路や生き方を学べる場をつくらうと、3月に南部町と八戸学院大、八戸学院短大が締結した連携協力協定の関連事業として実施。町が施設を準備し、大学・短大の茂木典子キャリア支援センター長が講演した。

地域を良くするためのアイデアを発表する高校生